

外国語科学習指導案

1 単元名 Stage Activity2 Research and Presentation NEW HORIZON English Course2

2 本単元で扱う領域における「CAN-DO リスト」形式による学習達成目標（第2学年）

聞くこと	読むこと	話すこと【やり取り】	話すこと【発表】	書くこと
はっきりと話されれば、天気予報など日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	春休みの予定など、日常的な話題について簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章から必要な情報を読み取ることができる。	休暇や週末の予定など、日常生活について、メモなどを活用しながら即興でたずねたり答えたりすることができる。	職場体験など、日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	自分の予定や将来の夢など、日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
U1, LL2, LL3, LL5	U0, LR1	U1, LT1, LT2	U3, SA1	U1, LW1
はっきりと話されれば、飛行機の機内放送や留守番電話などについて、話の概要を捉えることができる。	食文化など、日常的な話題について書かれたつながりのある文章を読んで、主な情報や概要を捉えることができる。	日本や外国のマナーや習慣について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	クラスで人気のあるものなど、関心のある事柄について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	職場体験などについて事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
LL1, LL4, U3	U2, LR2	U4, LT3	U6, SA2	U3, LW2
はっきりと話されれば、商品のコマーシャルや店内アナウンスなどに関する短い説明を聞いて、主な情報や大まかな内容を捉えることができる。	ユニバーサルデザインなど社会的な話題について簡単な語句や文で書かれた短い説明的文章を読んで、要点を捉えることができる。	各地の世界遺産などに関して、聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	自分の町のおすすめの場所などについて、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	各地の世界遺産などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
LL6, LL7	U5, LR3	U7, LT4, LT5, SA3	SA3	U7

3 単元における指導構想

(1) 教材観

本単元は、クラスで人気のあるものについて、疑問文を用いてクラスメートに調査し、その結果を発表する内容である。言語材料としては、Unit6 までの学習事項の比較級や最上級を用いて、その調査結果を分析したものをまとめ、効果的に資料を提示するなど工夫しながら、事実や自分の考えなどを整理し、聞き手に分かりやすく伝える力を養うことができるものとする。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、生徒によって英語の理解度に大きな差がある。英語で発表することや自分の意見を言うことなどに関して、積極的な生徒と消極的な生徒の取組に差が見られるのが課題である。帯活動での 1 min Talk やパフォーマンステストなどの活動を通して、自分の考えなどを相手に伝えることが苦手な生徒も少しずつ挑戦してみようとする姿が見られるようになってきた。やり取りや発表などの活動を通して、自分の考えだけでなく、理由や具体例を添えて相手を意識した発表につなげることが必要である。

(3) 指導観

調査や発表を行うことで、情報に関するスキルに加え、生徒の主体性や計画性、共感力を育むなど、幅広い学びの機会になり、さまざまな資質や能力の育成が考えられる。単元を通して伝える目的や伝える相手を考え、必要な情報を得たり、情報を整理したりすることで、相手を意識した伝える力を養うことができると考える。また、効果的に図を用いたり、プレゼンテーションを取り入れたりするなど工夫することで、聞き手に分かりやすく伝える力を身に付けさせたい。

また、英語に苦手意識があり、発表に不安感のある生徒も失敗を恐れずに取り組むことができるよう、タブレットでの録画機能を用いるなど、発表方法を工夫し、活動に意欲的に参加させたい。

4 単元の目標

クラスメートの関心のある事柄をよく知るために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果を分かりやすく伝えることができる。

5 単元の評価規準（「話すこと [発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(知識) Unit6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 (技能) Unit6 までの学習事項を用いて、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて、発表する技能を身に付けている。	クラスメートの関心のある事柄をよく知るために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果を分かりやすく発表している。	クラスメートの関心のある事柄をよく知るために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果を分かりやすく発表しようとしている。

6 指導と評価の計画（4 時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸文字）	評価			備考
		知	思	態	
1	■ 単元の目標を理解する。 ■ グループで調査したいトピックを選び、質問を考える。 ①教科書の内容を理解し、自分たちが調べたいトピックを選ぶ。 ②たずねる3つの質問を考える。 ③Forms を使って班ごとにアンケートを作成する。 ④Forms でアンケートに答える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。 </div>			
2	■ アンケート結果をまとめ、分析する。 ①班でアンケートの結果を分析し、要点をまとめる。 ■ 調査結果について発表プレゼンを作り、練習をする。 ・ ② 評価の観点を確認する。				
3	②班で聞き手にとって分かりやすいプレゼンを検討する。 ③個人やペア、班で発表練習をする。				
4 本 時	■ アンケート結果をまとめて発表し、振り返る。 ①評価について確認し、練習する。 ②班ごとに、効果的に伝えるために注意した点を確認する。 ③ 班の代表者のタブレットで発表を録画し、MetaMoJi ClassRoom に貼り付ける。 ④MetaMoJi ClassRoom を使ってすべての班の発表を見る。 ⑤Forms で発表に対してのコメントやアドバイスを書く。 ⑥Forms に返ってきたコメントやアドバイスを共有し、学習を振り返って自己評価をする。	○	○	○	〈動画〉 〈活動観察〉
後 日	ペーパーテスト	○			

7 本時の活動（第4時）

（1）目標

クラスメートの関心のある事柄をよく知るために、クラスで人気のあるものを調べた結果や自分の考えを整理し、分かりやすく伝えることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の場面	評価方法
2分	1 挨拶をする。	・簡単なやりとりをして、明るく英語を学習する雰囲気を作る。		
3分	2 本時の目標を知る。 <div>クラスで人気のあるものを調べた結果や自分の考えをまとめて、分かりやすく伝えよう。</div>			
18分	3 評価について確認し、班で発表練習をする。 MetaMoJi ClassRoom に録画した発表を貼り付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に効果的に伝えるために注意した点を確認し、意識して練習できるようにする。 ・MetaMoJi ClassRoom のグループ学習モードを用いる。 ・撮影した動画を見返し、班で改善点を出し合う。 ・時間内であれば撮り直すこともできるようにする。 	<div>知</div> <div>思</div> <div>態</div>	〈活動観察〉 〈動画〉
20分	4 調査結果について発表し、評価する。			
5分	5 学習を振り返って自己評価をする。			
2分	6 あいさつをする。	・生徒のよかった点を伝える。		

8 評価及び指導の例（「話すこと [発表]」）

「十分満足できる」と判断される状況 (a)	調べた結果を整理し、内容や資料の提示の仕方、表現の方法など、分かりやすく伝える工夫をしている。また、自分たちの考えや気持ちも発表に加えている。
「おおむね満足できる」状況 (b) を実現するための具体的な指導	調べた結果を整理し、内容や資料の提示の仕方、表現の方法など、分かりやすく伝える工夫を班で確認させたり、共有したりするなどして、簡単な語句や文を用いて発表できるように支援する。
「努力を要する」状況 (c) と判断した生徒への事後指導	個別指導をし、前時までの学習の内容を振り返る。調べた結果を整理し、内容や資料の提示の仕方、表現の方法など、分かりやすく伝える工夫を提案し、「おおむね満足できる」(b) を達成できるようにする。